



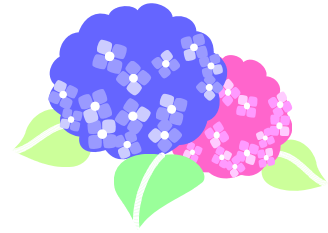
宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第6号 (H23.6.10)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

しつ じつ ごう けん
質実剛健



「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」

大学探訪・企業探訪！

～キャリア探究の一貫として～

6月2日(木)にキャリア探究の大学探訪として、「宮崎大学医学部」に、企業探訪として「ぎょうざの丸岡」に2年生40人が訪問しました。お礼の文を引用しながら、紹介させていただきます。

【大学探訪：宮崎大学医学部】

6月2日は、早朝より学部長の迫田隅男先生のお話を聞かせていただきました。都城泉ヶ丘の先輩である先生に、「苦手な教科をつくらない、苦手な教科があったらそれを2倍以上勉強しなさい、そして学問の幅を身につけなさい、そして狭き門を突破しなさい。」という話をしてくださいました。勉強をして自信をもつということが、患者さんに安心感をあたえ、医療の充実につながると感じた次第です。さらに医学部に入学し、医師免許を取得した後の生き方まで指導していただきました。医師になると、大学で研究を続けようとも、地域医療に貢献しようとも、それぞれに喜びがあることを教えてくださいました。このような話は、私たち学校の教職員では指導できないことであり、先生の経験からくる人生観にもとづいた貴重な講話であったと思います。

講話の後、シュミレーター実験実習をさせていただきました。林先生、河原先生、有村先生、小松先生、安部先生はじめ多くの先生方の指導のもと、腹部エコーや間接鏡、気管支鏡、ADSを使った実習に、生徒は大変興味をもち、医学についての興味や関心をさらに高めていけたような気がします。本校で学ぶ中学生の約半数は医学部をはじめ、薬学部、看護学部の希望をもっています。そうした、生徒にとって、様々な器具を使った体験は今後の学習意欲につながると考えます。



大学探訪スケジュール

- 医学部長の講義「医者のある方、姿勢、心構え」
- 医師による講義
- 医学教育改革推進センターの模型を使った点滴、採血などの体験、マネキンや生体ロボットなどを使用した医療手技体験

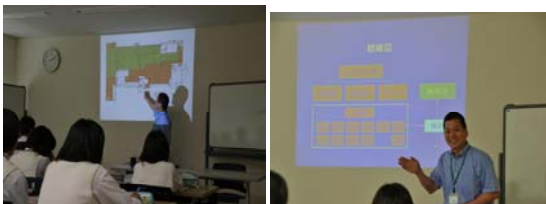
【大学探訪：生徒の感想】

- ～今日の医療体験の中で、関節をカメラで見る体験がありました。それを見て、こんな道具もあるのかととても関心をもち、さらに医者になりたいという夢が強まりました。あと、4年で大学です。医学部に受かるように精一杯頑張ろうと思いました。～(男子生徒)
- ～僕はこの講義を受けて、中学校や高校の勉強がいかに大事かということ、今までの経験をお話し下さった学部長から学ぶことができました。医者になった時の大変さや楽しさを知り、ますます医者になりたいと思いました。～自分の人生に生かしていきたい。～(男子生徒)



- ～医者に限らず誰にでも通用する事だと思うが、「自分の意見をしっかりと持つ」「言うべきことをはっきりと言う」「相手の意見をきちんと聞く」と言うことは大切な事だろう。すべての物事において自分の意見を持ち、しっかり発言することで、「自分は意見ばかり話して相手の意見を聞かない」と、「人の話を聞かない人」と言われることになる。～とても貴重な体験をすることができた。(女子生徒)
- ～まず、気管や気管支を見ました。本物ではなかったけれど、とてもリアルでびっくりしました。あと、心音や呼吸音も聞くことができ、医者っていつもこんな音を聞いていたんだと思いました。～今回の体験によって、医師になりたいという気持ちが大きくなりました。(女子生徒)

【企業探訪：ぎょうざの丸岡】



6月2日は、午後の食事の時間からお邪魔させていただきました。丸岡常務には、「企業の責任と役割」という題で、お話をさせていただきました。学校としては、生徒に企業のトップに立つ者の責任と自覚、それに人間性なども感じてもらいたいという気持ちでタイトルを決めさせていただきました。それに応える内容で、生徒のみならず職員にとっても良き研修の場となりました。内容については、企業の役割とは、お客様に対して「おいしさと食の安全・安心」を提供することです。責任とは、主にお客様に対する責任、社員に対する責任、そして社会に対する責任の三つでありました。お客様に対しての責任とは、美味しく安全で安心なぎょうざをつくることでした。上田さんからは、食の「安全・安心」という具体的な場面でのスライドを見せてもらいました。いかに衛生管理に気をつかわれ、指導徹底しているのか、会社を上げての取組みであることがさらに理解することができました。また、生徒のレポートの中に、「従業員が満足できない会社は、その先にあるお客様に満足できる商品は提供できない」との言葉があり、とても感心した次第です。そして、利益を得た企業は、国に対しては納税、そして地位社会に対してはスポーツや祭の協賛などに貢献していくこと

企業探訪スケジュール

- 丸岡常務取締役の講義
- 企業説明
- 「企業の責任と社会的役割」

など、利益追求のみではないという側面も生徒にとって新たな視点を提供していただいたと考えるところです。

【企業探訪：生徒の感想】

- ～宅配とお店での円グラフを見たとき、僕はお店での販売の方が断然多いと思っていたけれど、宅配が圧倒的に多いのを見て驚きました。材料の資料を見ても、思った以上に国産が多く驚きました。最近は輸入品が増えている中、あれだけ国内産があるなんてすごいと思いました。～(男子生徒)
- ～企業の責任です。「ぎょうざの丸岡」さんでは、客に対して安心・安全を、従業員に対しては、仕事を満足させることを、社会に対しては、利益を上げてでも地元還元することを義務としていました。高い目標ですが「ぎょうざの丸岡」さんはできているのですすごいと思いました。～(男子生徒)
- ～今は、食の衛生管理が社会で問題になっていますが、今回、映像を見せてもらって、とても徹底していて安心しました。ユッケなど問題になっていましたが、「ぎょうざの丸岡」さんは、そのような問題は起きないと思いました。これからも「ぎょうざの丸岡」さんのぎょうざを食べたいと思います。(男子生徒)
- ～最後に、「社会への責任」については、利益を上げて納税をして国のためになり、地元の人々にも貢献して、本当に素晴らしいと思いました。「おいしい」だけでなく、地域社会にとって必要な企業でありたいという考えは、本当にすごいと思いました。～(女子生徒)
- ～材料は、小麦粉は仕方ないけれど、それ以外は国内産を使っているということで安心できるなあと思いました。特徴も、非加熱で冷蔵保存の訳がよりおいしく食べられるためだと知って、うれしく思いました。(女子生徒)
- ～大企業などと違った製造方法をとっていて、その生産方法での生産量が日本一だということを私は全く知らなかったもので、これにも驚きました。冷蔵した状態から各家庭で加熱して菌を殺すという、変わった製造方法があるからこそ、おいしいぎょうざが作れるんだろうと思いました。～(女子生徒)